

富士見高原夏季大学

避暑地の文化史

— 富士見高原愛好会の50年 —

「二世紀も最初の二十年間を終わろうとしている現在、富士見高原にはいまなお巨大娯楽施設もマクドナルドやスターバックスも存在しない。にもかかわらず、この避暑地は、明治四一年に創刊される『阿羅々木』を中核としたアララギ派の斎藤茂吉ら歌人たちや詩人・尾崎喜八をはじめ、小説家・久米正雄の『月よりの使者』（一九三四年）や堀辰雄の『風立ちぬ』（一九三九年）の舞台となり、いまでは宮崎駿アニメの自然風景を成す。その歴史は富士見公園や高原のミュージアムにおいて確認することができる。」
（『富士見高原—環境と文化の50年—』序文より抜粋）

日時：平成29年8月23日（水）

午後3時00分～4時30分

会場：コミュニティ・プラザ 大会議室

講師：巽 孝之先生（慶応義塾大学文学部教授）

申込：受講無料で、事前申し込みも不要です。

問合：富士見町コミュニティ・プラザ

☎ 62-7900

講師

たつみ たかゆき
巽 孝之



1955年、東京生まれ。慶応義塾大学文学部英米文学専攻教授。日本英文学会監事、日本アメリカ文学会会長などを歴任。代表的著書に『ニュー・アメリカニズム—米文学思想史の物語学』、『リンカーンの世紀—アメリカ大統領たちの文学思想史』、『盗まれた廃墟—ポール・ド・マンのアメリカ』など多数。現在、第8代富士見高原愛好会会長。